

【職場適応援助者養成研修】訪問型・企業在籍型モデルカリキュラム

基礎的研修シラバス（案）

No	モデルカリキュラム科目 【JEDD科目名】	形態	内容	時間 (分)	訪問/ 企業在籍
1	職業リハビリテーションの理念と 就労支援のプロセス 【同上】	講義	・職業リハビリテーションの基本理念 ・就労支援のプロセスにおける職場適応援助者の役割と活用	60～120	共通
2	職場適応援助者の役割 【訪問型／企業在籍型職場適応援助者の役割】	講義	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・職場における障害者の権利擁護(障害者権利条約、合理的配慮等) ・守秘義務と情報の共有化	60～120	共通、訪問型 ／企業在籍型
			・（訪問型・企業在籍型）職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス ・ケース会議の開催と留意事項	60～120	
3	障害特性と職業的課題 【同上】	講義	・障害特性と職業的課題【身体障害（視覚、聴覚、肢体不自由、内部障害）、知的障害、精神障害（高次脳機能障害、若年性認知症を含む）、発達障害、難病】 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例（可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	180～300	共通
4	就労支援に関する制度 【労働関係法規の概要】	講義	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金、労働安全衛生法等基本的な労働関係法規の概要（労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金保険の特徴） ・活用できる助成金制度の概要	60～180	共通
5	職場における雇用管理 【職場における雇用管理の実際】	講義	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ	60～120	共通
6(訪)	企業文化の理解 【職場における雇用管理の実際】	講義 (見学)	・企業経営の基礎 ・企業の視点や企業文化の理解（可能であれば、企業の見学を行う）	60～180	訪問型
6(企)	社会福祉の現状 【障害者福祉と就労支援】	講義 (見学)	・障害者自立支援法における就労の位置付け ・障害の概念、社会福祉の視点等（可能であれば、就労移行支援事業所等の見学を行う）	60～180	企業在籍型
7	アセスメントの視点と支援計画に関する理解 【同上】	講義 演習	・アセスメントの視点と方法	60～120	共通、訪問型 ／企業在籍型
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法 ・面接・面談のポイント ・フォローアップ計画の意味と活用方法	120～240	
8(訪)	企業へのアプローチと事業所における調整方法 【同上】	講義	・企業へのアプローチ方法 ・事業所への働きかけと調整方法	120～ 240	訪問型 企業在籍型
8(企)	事業所内における調整 【同上】	演習	・事業所内における管理者、社員への理解の促進 ・ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法の理解		
9	事業所での支援方法の基礎理解 【事業主支援の基礎理解】 【ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅰ】	講義 演習	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成 ・ストレスの把握と対処の重要性	180～360	共通
10	職務分析と行動観察、作業指導 【課題分析の理論】 【作業指導の実際Ⅰ】／【作業指導の実際Ⅱ】	講義 演習	・職務分析、工程分析 ・作業指導における行動観察とフィードバック ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	240～360	共通
11	支援記録の作成 【支援記録の作成Ⅰ】／【支援記録の作成Ⅱ】	講義 (演習)	・支援記録の作成方法と活用方法	60～180	共通
12	地域における関係機関の役割と ネットワークの活用 【同上】	講義	・雇用、福祉、教育、医療等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	60～120	共通
13	ケアマネジメントと職場定着のための 生活・家族支援 【ケースマネジメントと 職場定着のための生活・家族支援】	講義	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	60～180	共通
14	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際 【ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅱ】	事例研究	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	120～240	共通
15	事業所における職場適応援助者の支援の実際 【同上】	実習	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習（可能であれば、障害当事者の話を聞く機会を設ける。）	420～ 480	共通
合計時間 2,520分（42時間）以上					

No	科目	形態	内容	時間 (分)
1	就労支援の理念・目的、障害者雇用の現状と障害者雇用・福祉施策	講義	・就労支援の理念と目的 ・就労支援の基本的な考え方 ・障害者雇用の現状 ・障害者雇用施策の概要 ・障害者福祉施策の体系や概要 ・雇用施策と福祉施策との連携	80
2	支援のプロセスⅠ (インターク～職業準備性の向上のための支援)	講義	・支援に当たっての基本的姿勢 ・就労支援全体のプロセス ・就労に関する方向付けのための支援 ・職業準備性の考え方 ・職業準備性の向上のための支援	50
3	支援のプロセスⅡ (求職活動支援～定着支援)	講義	・就職のための支援 ・職場定着（職場復帰を含む）のための支援 ・加齢等に伴う諸問題への対応	50
4	就労支援機関の役割と連携	講義	・就労支援機関の役割と業務内容 ・就労支援ネットワークについて	60
5	障害特性と職業的課題Ⅰ (身体障害、難病)	講義	・身体障害、難病それぞれの概要 ・職業的課題、障害特性に即した支援方法、支援上の留意事項 ・合理的配慮の事例	60
6	障害特性と職業的課題Ⅱ (知的障害、発達障害)	講義	・知的障害、発達障害それぞれの概要 ・職業的課題、障害特性に即した支援方法、支援上の留意事項 ・合理的配慮の事例	60
7	障害特性と職業的課題Ⅲ (精神障害、高次脳機能障害)	講義	・精神障害、高次脳機能障害それぞれの概要 ・職業的課題、障害特性に即した支援方法、支援上の留意事項 ・合理的配慮の事例	60
8	労働関係法規の基礎知識	講義	・労働契約上の注意点 ・安全衛生 ・法律上企業等に加入が義務づけられている労働保険・社会保険 ・問題が生じた場合の相談先	60
9	企業に対する支援の基礎	講義	・企業で働くとは ・企業を支援することの重要性 ・障害者雇用を巡る企業を取り巻く状況（近年の動向） ・企業支援のプロセス及び支援方法 ・企業支援の留意点	60
10	ケースマネジメントと 職場定着のための 生活支援・家族支援	講義	・就労支援におけるケースマネジメントの重要性 ・生活支援・家族支援の進め方 ・生活支援、家族支援における企業と支援機関の役割分担と連携	60
11	アセスメントの基礎	講義 演習	・アセスメントの目的と心構え ・アセスメントの実施方法と留意事項 ・アセスメント結果の分析ポイントと活用の仕方 ・相談を行う上での技法 【演習（グループワーク）】 モデル事例に即して、アセスメントにおける対象者への聞き取りや観察の内容、把握した情報に基づく支援の方向性等について検討	100
12	企業における 障害者雇用の実際	講義	・障害者雇用の考え方や雇用管理の実際 ・企業が求める人材 ・支援者に求めること	60
13	地域における就労支援の取組	事例検討 ／意見交換	【意見交換（グループワーク）】 所属機関における支援の取組、企業や支援機関との連携、ネットワークの活用状況等について意見交換 【ケーススタディ（グループワーク）】 モデル事例を用い、障害者・企業・家族への支援のプロセス・内容、各支援機関との連携などについて検討	90
14	講義の振り返り	講義／質 疑応答	・オンライン（オンデマンド方式）の講義のポイントの復習 ・質疑応答	60
合計時間の目安 900分				

—— は、職場適応援助者養成研修モデルカリキュラムの科目において、科目内容が基礎的研修カリキュラム（案）と関連しているものをつなげている。